

銭座防空壕群の保存・活用を求める陳情書

2018年9月6日

長崎市議会議長

五輪清隆様

陳情人

住所 長崎市桜町9-6

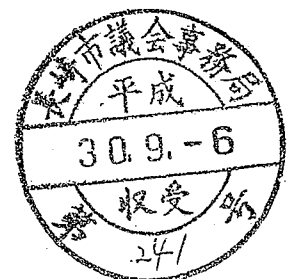
長崎地区労働組合会議内

団体名 「銭座防空壕群を保存する連絡会」

共同代表 中村住代 (中村) 月川秀文 (月川)

連絡先 電話 [REDACTED]

議会事務局議事調査課



銭座防空壕群の保存・活用を求める陳情

1 陳情の趣旨

九州新幹線長崎ルート建設現場で確認された防空壕群 15 ヶ所について、被爆当時の社会状況を示す貴重な「戦争・原爆遺構」であり、三菱造船幸町工場の敷地内に設置された「福岡俘虜収容所第 14 分所」の捕虜の人々とも深い関係があることから、私たち「銭座防空壕群を保存する連絡会」は、残る 4 ヶ所の防空壕群の出来る限りの保存・活用を求めて活動しています。最近、この防空壕群で、8 月 9 日捕虜の人々と共に避難し、負傷した母親らに捕虜の人々が水を飲ませてくれたという証言を確認することができました。戦争や原爆の体験者が高齢化していく中で、防空壕は貴重な歴史の証人です。あらためて、後世に禍根を残さないためにも、できる限りの保存・活用をしていただきたく陳情いたします。

2 陳情項目

- ① 工事を中断し、どうすれば残せるのかを含めた長崎市、鉄道運輸機構、当会との 3 者の協議の開催
- ② 長崎市原爆被災資料審議会の開催
- ③ 当該地に（仮称）説明板の設置